

## 教育大綱に関連する主な平成28年度予算

### 基本目標1 確かな学力の育成と多様なニーズに対応した教育の推進

#### ○確かな学力の育成（1,910万円→2,964万円）

- ・児童の理解度に応じて学習内容の反復練習ができる教科学習システムの平成29年度導入に向け、システム構築・試験運用を開始。また、県独自の学習状況調査を実施し指導改善の成果を検証。

#### ○岐阜清流高等特別支援学校の整備（3億7,038万円→9億9,125万円）

- ・職業教育に特化した専門学科を設置し、就労につながる多様なコースを設定した県内初の高等部単独の特別支援学校を平成29年度の開校に向けて整備。

#### ○特別支援教育の充実（1,237万円→2,268万円）

- ・新たに県立高等学校に特別支援教育支援員9名を配置。また、有識者や保護者等を交え、発達障がいのある児童生徒の実態把握と就学前から高等学校まで切れ目のない支援体制の構築を検討。

#### 新 県内在住外国人の就学前の子どもの支援（300万円）

- ・県内在住外国人（主に近年増加傾向にあるフィリピン人）の就学前の子どもの対象に、小学校で必要な日本語指導や生活指導を行い、その保護者に対し入学準備に必要な情報を提供。

#### 新 幼児教育の質の向上（180万円）

- ・「第2次岐阜県幼児教育アクションプラン」に基づき、幼稚園・保育所・認定こども園と小学校の円滑な接続のための岐阜県版のカリキュラムを作成するため、委員会を設置し検討を進めるとともに、各園・学校の好事例を県内に普及。

#### ○私立学校教育の推進（108億1,086万円→119億3,996万円）

- ・私立学校教育の振興と各学校の創意工夫による魅力ある学校づくりを促進するとともに、児童生徒の保護者の負担軽減を図るため、私立学校、私立幼稚園、私立専修学校等に対し助成。

### 基本目標2 今日的な課題に対応した教育の推進

#### ○グローバル人材育成に向けた取組みの推進（1,887万円→1,943万円）

- ・小・中・高等学校それぞれに英語教育に関する拠点校を指定し、実践研究を実施。また、英語教育の中核となる「英語教育推進リーダー」を養成し県内に英語指導法等を普及するとともに、英語担当教員に対し海外派遣研修や国内研修等を実施。

#### 新 工業高校における航空宇宙産業教育施設の整備（3,000万円）

- ・岐阜工業高等学校を航空宇宙産業教育の中核拠点に位置付け、産学官の連携による人材育成拠点「モノづくり教育プラザ（仮称）」を、平成29年度運用開始に向けて整備。

### ○スーパー・プロフェッショナル・ハイスクールの推進（2,000万円→3,000万円）

- ・新たに岐阜工業高等学校を「スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール」に指定し、航空宇宙関連企業や試験研究機関における実習や先端技術を取り入れた授業カリキュラム開発等を実施。

### 新産学金官連携人材育成・定着プロジェクトの推進（2,780万円）【3補】

- ・産学金官が連携して過去最大規模の企業合同説明会を開催するとともに、大学教授・学生への県内企業の魅力のPRや企業の若手技術者と学生の交流を目的とした課題解決研究等を実施。

### 新大学との連携による学生の県内就職の促進（1,616万円）【3補含む】

- ・大学生の県内就職を促進するため、県総合人材チャレンジセンターと県地域しごと支援センター内に「就活コンシェルジュ」を新設し、県内外の大学と連携したPR事業を展開。

### ○情報教育の推進（1,400万円→1,182万円）

- ・電子黒板やタブレットなどICTを活用した教育を推進するため、教員に対する研修プログラムを策定。また、遠隔地間をICT機器で結び学習するための指導法を開発。

### 新魅力ある高校づくりの推進（2,250万円）

- ・生徒自ら課題を発見し解決する新たなカリキュラムの開発や地域活動への積極的な参加による学校の活性化を推進。また、国際的教育プログラム（国際バカロレア）の導入調査等を実施。

### 新主権者教育の推進（336万円）

- ・18歳以上に選挙権年齢が引き下げられる初めての選挙に向け、模擬選挙など先進的な取組みの実践・調査研究を踏まえた事例集を作成し、高校生に対して選挙制度を啓発。

## 基本目標3 郷土を愛し、他者を思いやる心を育む教育の推進

### ○ふるさと教育の推進（110万円（H27.9補正新規）→144万円）

- ・ふるさと教育フェスタを開催し、小・中学生による伝統芸能の実演や杉原千畝など郷土の偉人を題材とする取組みの発表など交流の機会充実を図るとともに、学校における優れた「ふるさと教育」の表彰を実施。

### 新「ぎふ 森の恵みの おもちゃ美術館（仮称）」の整備（7,090万円）

- ・県民が身近に「ぎふ木育」を体験できる拠点として、「ぎふ 森の恵みの おもちゃ美術館（仮称）」の整備に向けた設計等を実施。

### ○ぎふ木育など環境教育の推進（2,205万円→2,215万円）

- ・教育機関への出前教室や木育キャラバン等を通じ、幼児期から高等学校まで段階に応じて森林と人間の関わりを学ぶ木育や森林環境教育を推進。

### ○道徳教育の推進（334万円→344万円）

- ・小・中・高等学校各1校を道徳教育パワーアップ実践校に指定し、道徳教育の研究と実践を行い、その成果を県内に普及。また、1家庭1ボランティア運動を県民運動として推進。

### ○いじめ等の問題行動や不登校への対応の充実（2億2,672万円→2億5,032万円）

- ・全中学校区に加え、新たに全ての公立高等学校と特別支援学校にスクールカウンセラーを配置。加えて、「あったかい言葉がけ運動」の推進等により、児童生徒の自尊感情を育成。

### ○スクールソーシャルワーカーの活用（413万円→600万円）

- ・問題を抱える児童生徒を取り巻く家庭や学校等への働きかけや、関係機関との連携により支援を行うスクールソーシャルワーカーについて、6教育事務所への配置を4名から6名に拡充するとともに、スーパーバイザー1名を継続配置。

## 基本目標4 学校・家庭・地域の連携による教育コミュニティづくりの推進

### **新**地域と連携した家庭教育の推進（342万円）

- ・家庭教育支援を推進するため、家庭教育に関する情報提供や相談対応、地域人材の養成、学習機会の提供等を行う「家庭教育支援員」を設置する市町村に対して助成。

### ○放課後子ども教室の推進（1,240万円→1,620万円）

- ・地域の方々の参画を得ながら放課後の子どもの健やかな活動場所確保を目的地とした「放課後子ども教室」を実施する市町村に対して助成。

### ○土曜日の教育支援体制の構築（760万円→780万円）

- ・土曜日に学校や公民館等を活動の場所として、地域の人材を活用し学習を中心とした「授業」や「教室」を実施する市町村に対して助成。

### **新**青少年の有害環境対策の推進（313万円）

- ・インターネットの利用によるトラブルや犯罪被害等から青少年を守るため、新たに保護者向けの啓発教材を作成し研修会を開催するとともに、携帯電話販売店と協力し有害情報のフィルタリング規制を推進。

## 基本目標5 スポーツの振興、健康・体力づくりの推進

### **新**全国レクリエーション大会の開催（1億150万円）

- ・本年9月23日から25日までの本大会開催のほか、大会の円滑な実施に向けた体制を整備するとともに全県的な機運醸成を図るためのイベントを開催。

### **新**ホストタウン構想の推進（1,698万円）【3補】

- ・東京オリンピック・パラリンピックに向け、自治体と大会参加国との交流を図るホストタウン構想に基づき、飛騨御嶽高原高地トレーニングエリア等における選手と住民のスポーツ交流等を実施。

### ○飛騨御嶽高原高地トレーニングエリアの整備（4,300万円→5,500万円）

- ・風雨により劣化している山頂のランニングコースの機能性・耐久性の向上のため、クッション性、耐水性の高いウッドチップ舗装整備を実施。

### ○2020年東京オリンピック等に向けた選手強化（5,366万円→6,272万円）

- ・東京オリンピック等で活躍できるアスリートを強化指定し、遠征や強化合宿に係る経費等を助成。また、ジュニア世代の人材発掘から育成までの一貫した強化策を、対象学年を拡大して実施。

### ○2020年東京パラリンピック等に向けた障がい者スポーツの競技力向上 (2,070万円→2,953万円)

- ・東京パラリンピック等で活躍できる選手やチームを強化指定し、遠征や強化合宿に係る経費等を助成。また、競技用具購入や競技団体設立等を支援するほか、新たに指導者を育成。

### ○障がい者スポーツ施設の整備（6億5,265万円→17億3,003万円）

- ・「ぎふ清流福祉エリア」において、平成28年12月にオープン予定の新福祉友愛プール及び平成29年中にオープン予定の障がい者用体育館を整備。

### **新**全国高校総体の開催準備（329万円）

- ・平成29年度全国スキー総体、平成30年度全国高校総体を開催するため、開催市や競技専門部と広く調整を行い大会の開催を準備。

## **基本目標6 生涯学習、文化芸術の振興**

### ○文化創造拠点「ぎふ清流文化プラザ」の魅力発信（1億287万円→1億682万円）

- ・平成27年9月にリニューアルオープンした「ぎふ清流文化プラザ」において、一流アーティストによる公演など開館1周年の各種イベントを含む文化振興事業を展開。

### ○清流の国ぎふ芸術祭の開催準備（1,550万円→1億2,250万円）

- ・平成29年度開催予定の全国規模の公募展「清流の国ぎふ芸術祭 Art Award IN THE CUBE 2017」に向けた準備を進めるとともに、平成30年度に開催予定の県民参加型公募展のあり方を検討。

### ○岐阜県美術館の魅力向上と賑わいづくり（8,069万円→8,153万円）

- ・館外でのワークショップや市町村への作品貸出、アートまるケット第2弾を実施。また、インターネットでの新たな情報発信や作品解説用機器を導入。

### **新**岐阜県図書館のリニューアル（3,110万円）

- ・ふるさとへの誇りと愛着を育むため、郷土作家展示を常設化するとともに、国際化に対応した人材育成のための海外情報コーナーを新設。

### ○県博物館における企画展の開催（1,744万円→1,991万円）

- ・開館から40年目を迎える県博物館において、記念企画展として「新・恐竜学～鳥になった恐竜の脳科学～（仮称）」、「円空仏巡拝～東海地方にのこされた円空の足跡～（仮称）」を開催。

### ○県産花きの活用（2,040万円→2,750万円）

- ・花フェスタ記念公園におけるフラワーフェスティバルや「花きの日（8月7日）」PRイベント、小中学校における花育等を実施。

### ○無形民俗文化財の伝承（430万円→430万円）

- ・無形民俗文化財の後継者育成と伝承のため、保存・振興団体等が行う地歌舞伎、文楽・能、獅子芝居の県レベルの大会や伝承教室の開催を助成。

### ○高山陣屋跡保存修理（4,000万円→5,200万円）

- ・国史跡高山陣屋跡の保存管理及び入場者への安全な環境提供のため、保存修理事業計画に基づき、内堀、外堀の修理工事等を実施。

## 基本目標 7 魅力ある教職員の育成と安全・安心な教育環境づくりの推進

### **新**健康な職場環境づくり（こころの定期健康診断）（930万円）

- ・教職員の誰もが心身ともに健康で、職場において力を発揮できる環境づくりのための検査（ストレスチェック）を実施。

### ○県立学校施設の改修（26億1,987万円→26億1,987万円）

- ・児童生徒の安全を確保し、安心して学べる環境を整備するため、老朽化している施設の屋上外壁改修、内部改修等を計画的に実施。

### **新**生活に困窮している世帯の子どもの学習支援（290万円）

- ・生活に困窮している世帯の子どもの学習機会を提供し自立に向けた活動を支援するため、市町村が行う学習活動等に参加する際に必要となる交通費を新たに助成。

### **新**地域人材を活用した家庭における学習支援（359万円）

- ・家庭内での学習が困難であったり、学習習慣が十分に身につけていない小中学生の学力向上を図るため、退職教員や教員志望大学生等の地域人材による学習支援を実施する市町村に対して助成。

### ○公立高等学校等就学支援金の支給（30億3,808万円→43億5,571万円）

- ・県内の公立高等学校等に在学する生徒を対象に、高等学校の授業料に充てるため高等学校等就学支援金を支給。

### ○高校生等奨学給付金の支給（2億9,271万円→3億8,557万円）

- ・高校生等がいる低所得世帯を対象に、教科書費や教材費、学用品など授業料以外の教育費負担を軽減するため高校生等奨学給付金を支給。